

日本銅学会

講演概要集原稿執筆要領(2016年版)

講演概要は、目的、方法(実験内容)、結果を図・表・写真を含めて簡潔に書いて下さい。
原稿用紙の大きさ等は特に指定しませんが、**標準**として**26文字×57行の2段組**で作成していただきます。講演概要集の大きさは、**A4版**で発行されます。

なお、原稿の作成は**ワープロ**で作成する事を原則とします。PDFまたはwordでご提出下さい。

執筆要領注意事項

1. 提出された原稿1枚を1頁分としてそっくりそのまま写真で等倍又は縮小し、オフセット印刷にしますので、図表も含めて全て**黒色印字**として下さい。
(白黒印刷ですので、カラー印字原稿は色の濃淡等が判らなくなる為原則不可です)
2. 原稿の**1行目**に題目を書き、1行空けた原稿の**3行目**に講演者名(連名の場合は連名者も併記し、講演者の頭に**※印**をつける)、その横に**勤務先を括弧で括って**書いて下さい。本文はその下1行空けてから記述下さい。2ページ目は1行目から続けて記述下さい。これはあくまで原則でありますので、見やすさを損なわない程度の変形は差し支えありません。
3. 題目、講演者名、勤務先の文字は添付見本を参考にして下さい。
本文の文字の大きさもバランスを配慮し、標準文字数及び行数、見易さを考慮して決定下さい。
4. 図・表・写真等は、なるべく本文と切り離さないようにし、例えば幅いっぱいにならない図面や表は右側に入れて、左側の余白へ本文を記述するようにして下さい。
また、図や表の中の文字はあまり小さいと判読出来ない事がありますのでご注意下さい。
5. **原稿の規定枚数は2頁**ですので必ず**厳守**下さい。ただし、事務局指定のものは除く。
なお、二ページ目は少なくとも2/3以上執筆し、大きな余白を残さないで下さい。

■ 研究助成金を受けての発表に関して

銅及び銅合金技術研究会 (or 日本銅学会) の研究助成金を受けての研究発表の際は、本文の最後に「銅及び銅合金技術研究会 (or 日本銅学会) 平成〇年度研究助成金による研究」と必ず記して下さい。

採用された際の名称「銅及び銅合金技術研究会」 or 「日本銅学会」でご記入下さい。

(平成24年度研究助成から日本銅学会になりました。)

以上

PS : ①概要集原稿スタイルについては、例えば、**別添サンプル**を参考としてください。
②翌年8月初に発行する日本銅学会誌「銅と銅合金」に論文や特別講演等として投稿していただきますので、予めお知らせしておきます。